

スケジュール・整備手法について

- 1 今後のスケジュール
- 2 整備手法の検討

2 整備手法の検討

(1) 想定する整備手法

整備手法として、設計・施工を分離して発注する従来手法や民間事業者による提案や運営手法等を生かすことができる官民連携手法(DB、DBO、PFI等)が想定されます。

本市及び他都市の類似施設等の整備事例を参考に、本事業の整備手法を以下のとおり想定しました。

(整備手法の概要)

整備手法	概要
①設計施工分離 (従来方式)	設計を設計事務所に発注し、仕様等を確定した実施設計図書に基づき、建設工事を建設会社に発注する従来の方式。
②基本設計DB (設計施工一括)	施設に求める機能・性能等をまとめた要求水準に基づき、設計と建設工事を設計事務所・建設会社に発注する方式。
③実施設計DB (設計施工一括)	基本設計を設計事務所に発注し、基本設計図書等と施設に求める機能・性能等をまとめた要求水準に基づき、実施設計と建設工事を建設会社に発注する方式。
④DBO (設計施工 管理運営一括)	施設に求める機能・性能・管理・運営等をまとめた要求水準に基づき、設計、建設工事、維持管理、運営を設計事務所・建設会社・管理会社・運営会社に発注する方式。
⑤PFI	施設に求める機能・性能等をまとめた要求水準書に基づき、設計・建設工事(・維持管理・運営)をPFI事業者(民間企業のコンソーシアム)に発注する方式。 ※ 資金調達はPFI事業者(民間)が行う。

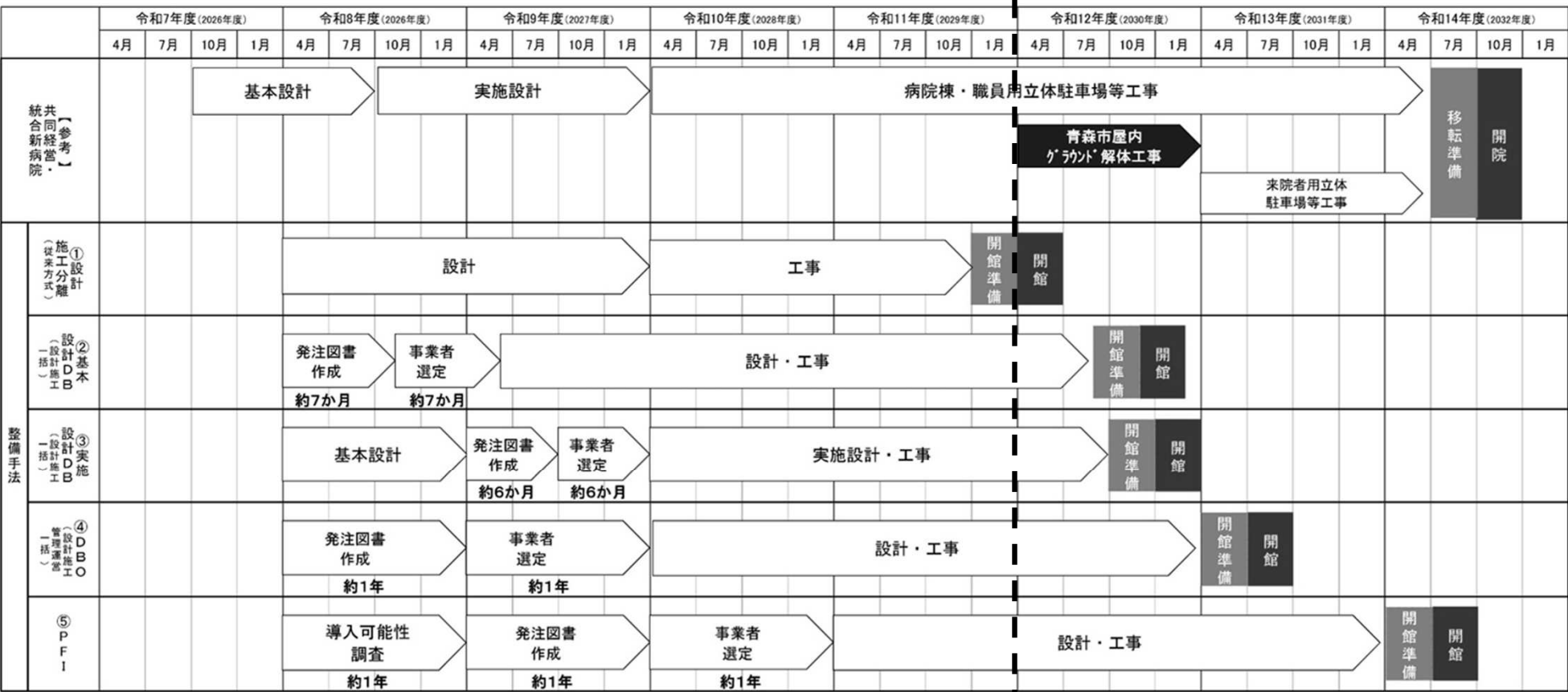
2 整備手法の検討

(整備手法の比較)

項目	①設計施工分離 (従来方式)	②基本設計DB (設計施工一括)	③実施設計DB (設計施工一括)	④DBO (設計施工管理運営一括)	⑤PFI
事業期間 への影響	実施設計図書により発注 するため要求水準書等 の作成は不要。 発注は2回必要。	DB 発注図書の作成が 必要。 発注は1回のみ。 先行工事が期待できる。	DB 発注図書の作成が 必要。 発注は2回必要。 先行工事が期待できる。	DBO発注図書の作成が 必要。 発注は1回のみ。 先行工事が期待できる。	PFI 可能性調査が必要。 PFI 発注図書の作成が 必要。 発注は1回のみ。
	○	△	△	△	×
コスト 縮減効果	設計段階で一定のコスト 縮減は可能だが、仕様 発注のため、施工者の技 術力を活かしたコスト縮 減が行いにくい。	基本設計から事業者が 技術力を活かして設計 を行うが、コスト縮減効 果(施工者積算)は不透 明である。	基本設計をもとに事業 者が技術力を活かして 実施設計を行うが、コス ト縮減効果(施工者積 算)は不透明である。	基本設計から事業者が 技術力を活かし、管理 運営を考慮した設計を 行うため、コスト縮減効 果が期待できる。	事業者の創意工夫を 活かした事業計画の立 案が可能のため、コス ト縮減効果が期待でき る。
	△	△	△	○	○
発注者の 意向反映	同一設計事務所が基本 設計・実施設計を行うた め、発注者の意向を継続 して反映しやすい。	基本設計以降の発注 者の意向を反映しにく い性能発注方式であり、 品質確保に発注者の 管理能力が求められる。	実施設計以降の発注 者の意向を反映しにく い性能発注方式であり、 品質確保に発注者の 管理能力が求められる。	基本設計以降の発注 者の意向を反映しにく い性能発注方式であり、 品質確保に発注者の 管理能力が求められる。	基本設計以降の発注 者の意向を反映しにく い性能発注方式であり、 品質確保に発注者の 管理能力が求められる。
	○	△	△	△	△
入札不調 リスク	工事契約まで施工者を 決めることができない。	基本設計段階で施工 者と契約が可能である。	実施設計段階で施工 者と契約が可能である。	基本設計段階から施工 者を含めた事業者と契 約可能である。	基本設計段階から施 工者を含めた事業者と 契約可能である。
	△	○	○	○	○

2 整備手法の検討

(2) 各整備手法の想定スケジュール



※本市及び他都市の様々な施設の事例を参考にスケジュールを想定

(3) 検討結果

本事業の整備手法は、令和12年4月の開館を目指して設計施工分離(従来方式)を基本とします。

ただし、共同経営・統合新病院の整備スケジュール等を踏まえ、必要に応じて調整を行うこととします。

なお、開館後の管理・運営については、効率的かつ効果的に質の高い公共サービス提供を図るため、民間活力の導入を検討します。